

第四十回帝國議會 衆議院 狩獵法改正法律案委員會會議錄(筆記)第三回

會議

大正七年三月十三日午前十時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

- 清 峯太郎君 長田 桃藏君 菅野傳右衛門君
- 井島 義雄君 石射 文五郎君 松島 肇君
- 吉田 中君 井原 百介君 福田 辰五郎君
- 古川 清君

同月十三日委員古屋慶隆君委員岡部次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ山田正年君川村惇君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農商務大臣 仲小路 廉君

出席政府委員左ノ如シ

農商務次官 上山滿之進君 農商務省農務局長 道家 齊君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

狩獵法改正法律案

(以下筆記)

○委員長(清峯太郎君)ハ開會ヲ宣告シ懇談會ヲ開ク旨ヲ述フ

(懇談會)

○委員長(清峯太郎君)ハ懇談會ヲ閉ツル旨ヲ告ケ引續キ會議ヲ開ク旨ヲ宣告ス

(以下速記)(午前十一時二十八分)

○委員長(清峯太郎君) 是カラ改メテ開會致シマス、大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、大切ナ質問ハドウツ此場合ニ願ヒマス、私ハ第一ニ大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、此改正案ノ中デ一番大切ナルモノハ獵區ノ設定デアラウト思ヒマス、是ハ二十數年來ノ問題ニナツテ居リマシテ、中ニ八釜敷イ事柄デアルト思ヒマス、而シテ今日ハ獵區設定ト云フコトハ誰モ認メテ居ル事デアリマスガ、唯、設定サレタ獵區ヲ一人若クハ數人ノ者ニ獨占ラ許スカ、公開ニスルカト云フコトガ問題デアリマス、本法デハ其規定ガ無イノデアリマス、多分公開シテ獨占ハ許サヌト云フ御方針デアラウト思ヒマスガ、一般ノ人ハ不安ニ思フノデアリマスカラ、設定者ノ市町村ニ對シテ、一人若クハ數人ニ獨占セシムルヤウナ事ハハラセヌト云フ御方針デアラナラバ、大臣ヨリ一ツ御聲明ヲ願ッテ置キマスレバ、一般ガ非常ニ安心スルト思ヒマス

○國務大臣(仲小路廉君) 會期モ既ニ切迫シテ居ル場合ニ、今回此案ヲ提出致シタノデアリマス、定メテ御審議ニハ種々御支障モアラウカト存ジマスガ、努メテ此法案ノ趣意ハ之ヲ明瞭ニ致シテ置キタイト思ヒマス、今回此法案ヲ提出致シタ理由ハ、先日本會議デモ大要ヲ述ベテ置イタノデアリマスガ、努メテ野生鳥獸ニ付テノ保護ハ之ヲ全ウシテ、農業及林業等ニ對スル種々ノ惡影響ハ之ヲ防止シタイト思ヒマス、殊ニ又狩獵法

實施後ノ實績ヨリ考ヘマシテモ、此際時勢ニ適スル途ヲ改正ヲシテ置キタイト考ヘルノデアリマス、唯今委員長ヨリ御質問ニナリマシタ獵區設定ノ事デアリマス、是ハ御話ノ如ク、數年前カラ何人モ注目シテ居ル所デアリマス、當局ニ於テモ種々此點ニ於テハ考慮シタノデアリマス、此獵區ヲ設定致シマス事ハ、ドウシテモ今日ノ場合必要デアルト存ジマス、併ナガラ獵區ヲ設定シテ、ソレト同時ニ之ヲ一二ノ人ガ獨占シテ仕舞フト云フコトニナリマス、又其處ニ種々ノ弊ヲ生ジテ參リマスシ、ノミナラス今日ノ場合ハ國民全體ト云フ上カラ考慮致スノカ相當デアラウト存ジマス、或一二ノ者ガ獨占シテ仕舞フト云フヤウナコトハ、隨分海外諸邦ニ於テ其例ヲ見ルヤウデアリマスガ、我國情ニ於テハ是亦一方ニ偏シテハ宜シクナイト存ジマス、即チ今回ノ規定ハ國、道、府縣、郡又ハ市町村ハ、命令ノ定ムル所ニ依テ獵區ヲ設定スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、此獵區ニシマシテモ、決シテ一二ノ者ガ之ヲ獨占致スト云フ方法ハ執ラセマセ積リデアリマス、即チ是ハ獨占的デナク公開サセル積リデアリマス

○委員長(清峯太郎君) モウ一ツ大切ナ事ヲ伺ッテ置キタイノハ、各府縣ニ一人若クハ數人ノ狩獵監督官ヲ御置ニナル御考ハアリマセヌカ、ト申スノハ、此狩獵ニ關スル思想ガ大分違ッテ參リマシタ、今日マデハ唯、鐵砲ヲ撃ツノヲ取締ルト云フコトノ規則ガ出テ居ッタノデアリマスガ、此頃ハ歐羅巴ニ於テモ狩獵ト云フコトニ付テハ大分變化シテ來タヤウデアリマシテ、鳥獸ヲ蕃殖サシテ、唯、擊殺スト云フバカリデナクシテ、蕃殖サシテ之ヲ獲ルト云フヤウニ、餘程歐羅巴風ノ進ム狩獵ノ考ヲ皆持ッテ來タノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ事ヲ取締ルニハ、矢張各府縣ニ專門ノ監督官ヲ置ク必要ガアルデアラウト考ヘマス、之ニ對シテハ多少ノ經費ヲ要シマセウケレドモ、其經費ノ如キハ狩獵免狀料ノ中カラテモ出マセウシ、サウ多額ノモノデアリマセヌカラ、一般ノ希望デハ監督官ヲ置イテ費イタイト云フ事デアリマスガ、其點ニ就テ御伺致シマス

○國務大臣(仲小路廉君) 唯今、御質問ニ御答致シマスガ是ハ唯今委員長ヨリ御述ニナリマシタ如クニ、狩獵ノ事實デアリマス、是ハ全ク古代トハ餘程思想モ變ッテ參ッテ居ルノデアリマス、唯、之ヲ消極ニ禁遏防止ト云フ事ノミニ偏シテ仕舞フノモ、決シテ時代ニ適シタモノデアリマス、ドウシテモ一面ニハ野生鳥獸其他ノ物ノ蕃殖ヲ圖ッテ行キ、サウシテ農業林業等ニ付テ障害ヲ無イヤウニスル、ソレト同時ニ或ハ卵ニ對シテ、或ハ雛ニ對シテハ努メテ積極ノ方針ヲ執ッテ、出來得ル限り鳥獸蕃殖ノ途ヲ圖ッテ、サウシテ茲ニ狩獵ノ出來ルヤウナ方法ニ致シテ行クト云フコトガ、是ガモウ年來一般ニ行ハレテ居ル思想デアルト存ジマス、隨テ取締ニ付キマシテハ、或ハ密獵ノ取締ト云フヤウナコトニ付テハ、是ハ嚴ニ致シマセヌト、折角相當ナ方法ヲ以テ狩獵ニ從事スル者ガ、甚ダ其害ヲ蒙ルコトニナルノデアリマスガ、之ニ付テハ矢張相當ノ智識アル者ガ監督シナケレバ行ハレヌトデアラウト存ジマス、今回法律ノ改正ヲ致シマシテ、是ガ實施ニナリマシタナラバ、近來ノ思想ニ合フヤウニ致シテ行キタイト考ヘマス、各府縣ニ悉ク其人ヲ配置スルコトガ出來ルヤ否ヤ、是ハ又別ニ費用ノ關係等モアリマスガ、唯今委員長ノ御述ニ

ナリマシタ趣意ハ、能ク參酌致シマシテ、成ルベク必要ナ地方ニハ其道ノ者ヲ以テ監督ニ從事セシムル事ニシマス考デアリマス、此事ハ明言致シテ置キマシテ宜シウ御坐イマス、此度此法律ヲ制定ニナツテ、實行ノ場合ニハ總テノ事ニ付テ餘程注意ヲスル積リデアリマス

○井原百介君 第八條ノ狩獵免狀ト云フコトニ付テ御説明ガアツタヤウデアリマスガ、多クハ五割、少ナキハ一割五分ノ増額ニナツテ居リマスガ、是ハ總テノ物價ノ騰貴トカ、富ノ程度ガ高マツタト云フコトカラ、上ゲラレタモノト思ヒマスルガ、サウシマスルト大ニ資格ニ對シテモ、又富ノ程度ガ上ガツタト云フコトカラシテ、資格ヲ高メルト云フ必要モ必ズアルダラウト思ヒマスガ、ウレニ對シテハ、少シモ御手が這入ツテ居ラヌヤウデスガ、ドウシテモ資格ト云フコトガ稅ノ前提デアルト思ヒマス、資格ガ上ガレバ稅ガ上ガルト云フモノガ順序デアアル、ウレガ相當デハナカラウカト思フ、是ニ對スル御考ハアリマセヌカ

○國務大臣(仲小路廉君) 唯今ノ御質問ニ就テ大體ノ趣意ヲ御答ヲ致シテ置キマシテ、尙ホ細目ニ互リマスルコトハ、又政府委員カラ御答致シマス、大體此規定ヲ今回出シマシタノハ、即チ從前ノ此稅額ヲ上ボセルコトニ致シマシタ、大體ノ趣意ハ是即チ現在法律ノ實驗上ノ結果ニ依リマシテ、ドウシテモ之ヲ改メルノ必要ガアルト認メタノデアリマス、此趣意ハ單純ニ物價騰貴ト云フ趣意デアリマセヌ、固ヨリ其意味モ加味シマセヌデアリマセヌガ、寧ロ狩獵法ノ趣意ヲ適切ニ致シマスルニ付キマシテハ、現在施行シテ居ル法律ノ結果ニ鑑ミマシテ、ドウモ此儘デハ行ケナイ是ハドウシテモ高メテ置クノ必要アリト考ヘテ、此制度ヲ設ケマシタ次第デアリマス、隨テ是等ノ等級ヲ定メテ、又金額ヲ定メルニ就キマシテモ、是亦實驗上ノ結果ニ依リマシテ、餘リ一方ニ偏セズ、又最下等ニ屬スルモノニ付テモ、相當ノ考ヲ持ツガ至當デアラウト云フノデ、此規定ヲ設ケタノデアリマス、尙ホ此内容竝ニ細目ニ付キマシテハ、當局ノ局長ヨリ御答致サセマス

○政府委員(道家齊君) 唯今井原君カラ狩獵免狀ニ關スル御質問ガアリマシタガ、是ハ前回ニモ申シマシタ通りニ、是迄ニ實驗シマシタノト、ウレカラ一面ニ於キマシテハ鳥獸ノ保護繁殖ヲ圖ル上カラ致シマシテモ、狩獵家ノ課稅ニ付テモ顧慮スル所ガアリマシテ、現在ノ十五圓ヲ二十圓、四十圓ヲ四十五圓、四圓ヲ五圓ト上ゲタト云フ、比率ハドウカト云フト、累進ノ大體方針ヲ取ツタデアリマス、此最下等ノ三等ノ分ハ二割五分、三等ノ分ハ三割、ウレカラ一等ノ分ガ——三等ノ分ガ一割五分、サウ云フヤウナ方針ヲ執ツテ、之ヲ改メルトニ致シマシタノデ、之ヲ簡單ニ申シマスレバ、是マデノ實體ト、現在ノ狀況ト、此法律制定ノ當時ト今日ノ狀況ト比較シタ所ト、ウレカラ幾ラカ狩獵者ノ數ノ上ニ於テモ、蕃殖保護ノ必要ガ多少アルト云フ意味モアル、隨テ今申シマシタヤウナ累進ノ方法ヲ執ツテ、五圓、二十圓、四十五圓、斯様ニ致シマシタ

○井原百介君 サウ云フ意味ニ於テ、一面ニ於テ富ノ程度ノ御考ガアルナラバ、此ノ資格ニ對シテ上ゲヤウト云フ御考ハナイノデアリマセウカ

○政府委員(道家齊君) 是ハ中々六ヶ敷イモノデ、資格ト云フヤウナコトヲ定メマスルニ付テモ、見方ニ依リマシテハ、此標準ハ餘程定メ惡イノデ、之ヲ定メルニ付キマシテハ、當局ニ於キマシテモ餘程苦心ヲ致シマシタ、結局資格ノ點ニ於キマシテハ、現行ノ程度デ先ツ相當デアラウ、サウシテ金額ハ其資格ニ應ジテ、斯ノ如キ累進ノ方法ヲ以テ増加

シテ行クト、是ガ適當デアラウト考ヘマシタノデアリマス

○石射文五郎君 私モ一寸政府委員ニ御尋致シマスガ、此三條ノ但書ノ事ニ付テハ、昨日モ一寸御尋シタノデスガ、此鴨池ノコトデスガ、隨分此鴨池ト云フモノハ一時ニ多數ヲ捕獲スル方法デアツテ、大分海岸ノ鴨ノ寄り場、或ハ川ナドニ寄り場ヲ造ツテ捕獲スルコトガ、現在方々ニ行ハレテ居ル、鴨ハ多ク其方法ニ依テ捕ラレテ、市場ニ出テ來ルヤウニナツテ居ル、之ヲ狩獵法以外ニ置クト云フコトハ、ドウモ此真意ガ能ク私ニ分リマセヌカラ、モウ一應詳シク御聽キ致シタイ、ウレカラ第五條ノ此甲乙ノ獵區ノ區別デアリマスルガ、此乙種ノ所謂鐵砲ヲ持ツテ職業トシテ居ル者ガ多ク、銃器バカリテナク、免網トカ或ハ鴨ヲ取ルトカ云フヤウナ時分ニハ、網網ヤ免網ヲモ使ツテ兼業ヲシテ居リマスガ、此方法ニ依ルト單純ノ銃器以外ノ乙種免狀ヲ使用スルコトガ出來ヌヤウデアリマスガ、是等ハ大分地方ノ鐵砲打ト稱スル職業ノ者ハ、餘程ノ打撃デハナイカト考ヘマス、ウレカラ第八條ノ一二三ノ項デ御坐イマスガ、先刻委員長カラモ大臣ニ御尋ラシテ居ラル、ヤウデアリマスルガ、此狩獵ハ一體ノ趣ガ以前トハ變ツテ、所謂一等二等邊ニ該當スル所ノ人ミハ、一ツノ道樂トシテ、所謂遊獵トシテ、歐羅巴邊リノヤウニ富豪ノ人ミ或ハ其趣味ノアル人ミガ、休暇ヲ利用スルトカ、朝夕ノ暇ヲ利用シテ樂ニヤルト云フ風ナコトガ、近來ノ狩獵界ノ流行ニナツテ來マシタ、隨テ之ニ一二等ノ區別ガ出來テ來タヤウデアリマスガ、以前ハ是ハ遊獵ト職獵ノ二ツニ分レテアツタノデアリマス、地方ニ於ケル舊來ノ獵師ト云フ者モ、以前ハ隨分專業ニシテ居ル者モアリ、或ハ又農夫ガ冬期ノ間ノ副業ニヤツテ居ルト云フヤウナ傾ガアリマシタガ、近來ハ鳥獸モ著シク減シテ、之ヲ職業トシテヤルコトガ出來ナクナリマシテ、唯々僅ニ幾ラナリ收入ノ一部ニスルト云フ補助的收入ノ仕事ニナツテ居リマス、所ガ其一二等ノ所謂遊獵ニ屬スベキ人ミガ、此三等ノ納稅ヲシテ所謂脫稅手段トシテ、三等ノ免狀ヲ受ケテ居ル者ガ澤山アリマス、是ハ夥シイ者デアルト思ヒマス、私共ハ却テ是ハ遊獵ト職獵トノ二ツニ明カニ區別スル方が、一般ニ脫稅ヲ防グト云フ上カラ、却テ必要デナイカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ付テドウ云フ御考デアリマセウカ

○政府委員(道家齊君) 唯今ノ御尋ハ、三條五條竝ニ八條ニ互ツテ居リマスガ、第三條ノ問題カラ御答致シマス、即チ鴨ヲ捕ルノガ大變餘計ニ捕ルヤウニナツテ居ルガ、ウレハ蕃殖上ニ餘程害ガアリハシナイカ、又但書邊リテウレ見道シテ居ルヤウデアルト思フトノ御尋デアリマシタガ、此鴨獵澤山ニ鴨ヲ捕ツテ居ルト云フヤウナ場所ハ、御承知ノ通り鴨ガ餘程減リマシテ、中々多數總メテ捕ルト云フコトハ、殆ド御坐イマセヌ、併ナガラ餘計捕ルト云フ御考ノ點ハ、寧ロ現在設ケラレテ居リマスル共同狩獵地——此共同狩獵地デアリマスレバ、是ハ相當ノ方法ガ付イテ居リマスカラ、其共同者ガ之ヲ捕ルト云フ場合ニ於キマシテハ、唯今御話ノヤウニ多數捕ル場合モアリマセウカ、是ハ共同狩獵地ノ方ノ關係ニ依テ、サウ云フコトニ特別ニ保護ヲ致シテ、特別ニ許可ヲスルトカ、又ハソレハ習慣ニ依テ認メテ居ル所モアリマス、而シテ第三條ノ但書ニ依リマスレバ、是ハ極小規模ノ極メテ小サイモノデアリマスカラ、唯今仰セノヤウナ場合ハ無イノデス、謂ハハ鴨ニ致シマシテモ其他ニシテモ、自由ニ捕レルト云フ所ハ殆ドナイト云フ斯ウ云フ状態デアリマス、此三條ト云フ方ノ側ノ例外ガアルト云フ結果、今御話ノヤウニ澤山捕ルト

云フヤウナ場合モアルト考ヘラレマスガ、但書ハ極メテ小規模ノ場合ヲ想像シテ居ルノテアリマス、ソレカラ第五條ハ銃器ヲ用ヒテ鴨ナヅヲ捕ルト云フノテ、非常ニ打撃ヲ與ヘテ居ル、是ハ御承知ノ通り免狀ガ申上ニツニ分レテ居リマシテ、甲種ノ方デアリマス銃器ヲ用ヒナイ、即チ銃器以外ノ獵具ニ依テ捕ルノデアリマシテ、此方ハ大體ノ捕方ニ付キマシテモ、銃器ヲ用ヒルノトハ餘程程度ガ違ヒマスガ、是トモ澤山捕ツテハ、播殖上害ガアルト云フモノニ對シマシテハ、農商務大臣ガ第三條ニ依リマシテ、獵具ト云フ物ノ制限ヲシテ、其播殖力ヲ害スルヤウナ大仕掛テ捕ル者ハ、相當ノ規定ヲ設ケテ、取締ヲ致サセ、又乙種ノ方デアリマス、是ハ銃器デアリマスカラ、過日モ申上ゲタ通リ、裝藥銃ハ勿論デアルガ、尙ホ其他ニ空氣銃ガアル、空氣銃トテモ此項中、工夫シテ、御承知ノ通り歐羅巴邊リデハ、殆ド玩具ノヤウナ物デアリマシテ餘リ威力ハ御坐イマセヌガ、内地テ空氣銃ト稱シテ拵ヘテ居ルモノハ、多クハ威力ノ隨分強イモノデアル、ソレヲ以テ或ハ狩獵用ニ供スルト云フ目的ヲ拵ヘルモノガアル、ソレハ矢張取締ノ中ニ入レテ、相當ノ取締ヲスルノハ恰モ普通ノ銃器ト同シヤウニスルト云フコトデ、即チ銃器ニ依ッテ濫獲ヲ致シマスル點ハ、矢張是ハ取締ル積リデアリマシテ、其點ニ付キマシテハ、過日モ申上ゲマシタ通り、現行法ト餘リ違ヒマセヌガ、唯三條ノ點ニ付キマシテ、鈎鼠ト云フモノヲ入レマシタ、銃器ノ點ニ對スル取締ニ付キマシテハ、是迄ト先ツ違ハナイ積リテ居ルノデアリマス、ソレカラ第八條ノ點ニ付テハ、此三等ノ中ニハ隨分職獵デナクシテ、樂ミニスル者ガ多クテ、專業トシテヤル者ハ極メテ少ナイハナイカ、寧ろ是ヲ遊獵ト職獵トノ二ツニ分ケテ宜カラウト云フ御話モアリマシタガ、成程此狩獵ヲ職業ト致シテ居リマス者ハ、以前ヨリ段々減リマシタ、生活程度其他色々ノ關係デ段々減ツテハ參リマシタガ、併ナガラ今日之ヲ調ベテ見マスルト、各縣ニ於キマシテ依テ生計ヲ營シテ居リマス者ガ、全國テ千八百十四人居リマス、他ノ職業ニ從事シ若クハ他ノ收入ノ途アルモ、狩獵ニ依テ得ル收入ヲ最モ其生計上主ナルモノトシテ居ルト認メルモノガ幾ラモアル、之ヲ調ベテ見マス、全國テ一万三千二百九十一、今申上ゲマシタ二ツノ主義以外ノモノト申シマスルノガ九万六千四百四、合計ガ現在狩獵ノ免狀ヲ得テ居ル者ガ十一万一千六百二十二、斯ウナッテ居リマス、ソレテ此職獵ヲ專門トシテ居リマス者ガ、他ノ者ニ比シマシテ少ナウ御坐イマセケレドモ、マダ全國ニ今申上ゲルヤウナ數ガ少ナカラヌヤウナ状態デアリマス、是ハ各府縣ニ照會ヲ致シマシテ、極ク最近ニ徵集致シマシタモノデアリマス

○委員長(清峯太郎君) 別ニモウ御質問ハアリマセヌカ
○井島義雄君 是ハ施行命令ノ方ニ關係シマスガ、施行命令ノ方ノ主要事項トシテ頂戴シマシタ狐、蝮、狸、斯ウ云フモノニ對シテ狩獵期ヲ制限シテアリマスノハ、主トシテ其播殖ヲ保護スル爲デアラウト思ヒマスガ、昨日政府委員ニ御尋シマシタ狐、狸、免ト云フヤウナモノ、子供ノ播殖ヲ最モ妨害スル捕獲、即チ哺乳時期ニ於テ其巢ヲ襲ヒ、穴ヲ襲フテ捕獲スルコトハ今容易ニヤッテ居リマスガ、ソレハ昨日政府委員ノ御答デハ特別保護スルノ必要ガナイ、鳥ノ雛ヲ捕フルコトノヤウニ獸類ノ哺乳時期ニ於ケル子供ヲ捕ルコトハ、別ニ保護ノ必要ガナイト云フヤウナ御答辯ノヤウデアリマシタガ、矢張サウ云フ御考デアルト承ツテ置イテ宜シウ御坐イマセヌカ

○政府委員(道家齊君) 昨日ノ御問ニ對シマシテ御答ヲ致シマシタ通り、獸類ノ方テ狩獵獸ニ屬スルモノト、ソレカラ保護獸ニ屬スルモノト斯ウニ通リアリマス、狩獵獸ニ屬スル分ニシマシテ、其子供ハ保護セナイテ宜イカドウカ、斯ウ云フ御尋ガアツタ、是ハ昨日申上ゲマシタ通り狩獵獸ノ子デアリマシテ、其程度ハ狩獵鳥トハ大分農林業、即チ作物其他ニ對シマスル程度ガ少シ違フデアラウト考ヘマスト申シマスノハ、狩獵鳥デ見マスルト云フト、離ノ時分ニ大概ノ食物ガ皆ナ害出ヲ食ベテ居リマスカラ、即チ離ノ時分ト雖モ農林業ニ對シマシテ餘程保護スベキ必要ガアリマス、ソレカラ獸類ノ方デアリマス、ソレハサウ云フヤウナ蟲類ヲ食フノデナクシテ、哺乳ノ方デアリマスカラ、直接ニ農林ト云フ方デ子供ヲ保護シナケレバナラヌト云フモノデナイ、併シナガラ全體ニ於キマシテ、然ラバ獸類ヲ保護シナイテ宜イカト申セバ、是ハ又獸類ナラバ獸類ト致シテ農作物ヲ荒サヌモノニ對シマシテハ、ソレハ保護シナケレバナラヌデアリマスカラ、ソレハ一般ニ保護獸ニ這入ッテ居リマス、狩獵獸ニ屬スル子供ハ昨日申上ゲタヤウニ、狩獵鳥ト同シ程度ニナッテ宜カラウ、斯ウ云フコトヲ昨日申シタノデアリマス

○井島義雄君 續イテ御尋シマスガ、市町村ノ獵區ノ設定ト云フモノガ半面カラ觀察シマス、下級ノ狩獵者ニ餘程迷惑ヲ來ス弊害ガ生ゼヌトモ限ラヌカラ、獵區ト云フモノハ餘程嚴重ナ制限ヲ設ケテ戴カケレバ、困リハセヌカト云フ懸念カラ、御尋致シマシタ、ソレカラ公簿段別ノ百町歩以上ト云フコトニナリマス、殆ド市町村ガ獵區ヲ取ツテ仕舞フト云フコトニナリマス、範圍ガ廣過ギルト云フヤウナコトニ關係ヲ及ボシテ來ハセヌカト思ヒマス

○國務大臣(仲小路廉君) 唯今ノ御質問ニ付キマシテ私一應所見ヲ申上ゲテ置キマス、先刻此點ニ付キマシテハ、委員長ヨリモ餘程將來ノ事ヲ御考ニナッテ特ニ御質問ガアリマシタ、此獵區ヲ設定スルト云フ問題ハ、當面ノ問題デアリマス、是ハ相當ニ解決スベキモノト考ヘマス、併ナガラ是ト同時ニ因テ生ズル弊害、是ハ亦餘程注意ヲ致サネバナラヌデアリマス、各種ノ事ヲ考慮シテ、今申サウニ市町村等ノ公ノ團體、隨テ之ヲ設定スルニ付テ餘リニ濫レシマウテハ、亦種々ナル所ノ迷惑ヲ被ル者ガアル、井島君ノ御注意、是ハ施行上ニ餘程注意ヲ致スベキ事デアリマス、此法律ヲ實行スルニ付キマシテハ、決シテ之ガ濫レ流ル、ヤウナコトナク、努メテ此狩獵法ノ本趣意ニ從ッテ、適當ニ之ヲ處置シタイト存ジマス

○委員長(清峯太郎君) 是ハ質問デアリマセヌガ、タツタ一言農商務大臣ニ希望ヲ申上ゲテ置キマス、私ハ委員長トシテデアリマセヌ、此狩獵ト云フコトガ、免ニ角政府

ノ方面ニ於テ閑却サレテ居ルヤウニ思ヒマス、トコロガ御承知ノ通り歐羅巴ノ狩獵上ノ思想ガ這入ッテ來テ以來、狩獵界ニ於テハ餘程大切ナ事柄ニ今ナッテ居リマス、此度ノ改正案ノ如キハ大體ニ於キマシテ、吾々狩獵者ハ歡迎ヲ致シテ居ル 次第デアリマスケレドモ、尙ホ研究スベキ餘地ガ澤山アラウト思ヒマス、然ルニ農商務省ノ畜産課ノ一部ニ於テ之ヲ爲シテ居ルト云フ事柄丈デハ、十分ナコトヲ爲シテ下サル御積リデアリマセウケレドモ、ドウモ經費其他ノ事ニ付テ不足ヲ生ジテ居ルヤウナコトデハ、研究モ出來ナイトスウ思ッテ居ル、澤山ノ費用モ要ルコトデアリマセウト思ヒマスカラ、ドウカモウ少シ之ヲ研究スル丈ノ油ヲ注イテ戴キタイト思フデアリマス、幸ヒ今ノ内閣諸公ノ中ニハ、狩獵家ガ内務大臣、外務大臣、司法大臣等ノ有力ナル方ガオアリナサルデアリマシテ、一ツ此内閣ノ中ニモウ少シ狩獵研究ノ爲ニ、何か油ヲ少シ注イテ戴キタイト云フ希望ハ、十萬ノ狩獵者ヲ代表シテ申シテモ宜イト思ヒマス、皆ソレヲ希望シテ居リマス、前年此ノ前ノ内閣位ノ時デアリマシタカ、ソレナ事ニ付テ 農商務省ハ私共ハ懇談ヲ致シタコトガアリマスガ、遂ニ實行ニ至リマセヌ、聊カノ費用ヲ餘程ノ研究ガ出來ヤウト思ヒマスカラシテ、ドウツ此改正案ハ改正案トシテ、是ガ適當ナ修正ノ後通過シマセウガ、更ニマダ研究スル餘地ガアラウト思ヒマスカラ、一ツ適當ナ御保護ヲ願ヒタイト思ヒマス、豫メ希望致シテ置キマス

○農商務大臣(仲小路廉君) 唯今委員長トシテノ事ナクシテ清君トシテ御話デアリマシタガ、唯今御述ノ事ハ能ク了解致シテ居リマス、之ニ付テハドンナ方法ニ依ルカト云フコトハ、此席デ申上ゲルコトハ御坐イマセヌガ、能ク御趣意ノ在ル所ハ私ハ了解致シテ居リマス、其點ニ付キマシテハ最モ注意ヲ拂フコトヲ怠リマセヌ積リデアリマス

○委員長(清室太郎君) ドウデス、モウ御質問モナイヤウデスネ

(「アリマセヌ」ト呼フ者アリ) ○委員長(清室太郎君) 大臣ヘノ御質問ハ全ク終了ノヤウデスガ、政府委員ニ御尋スルヤウナコトハ……

(「アリマセヌ」ト呼フ者アリ) ○委員長(清室太郎君) ソレデハ質問ハ是デ終了致シマス

○古川清君 質問ハ大體是テ濟ンダヤウデアリマスカラシテ、五名位ノ小委員デ修正案ヲ起草シテ、今日午後デモヤッテ、明日ソレデ一ツ決定シテ貴フコトニシテハ如何デス

○委員長(清室太郎君) 至極宜シイヤウデスナ、御異議ガナケレバソレデハ五名デスカ、小委員ハ

○古川清君 五名、サウシテ委員長指名デ…… (二名デ宜イデアアリマセヌカ)ト呼フ者アリ

○委員長(清室太郎君) ソレデハ三名ノ御方ニ御願ヒ致シマセウ、其三名ノ諸君ガ修正案其他ニ付テ何か成案ヲ作ル

○古川清君 ソレハ委員長モ加ハッテ四名…… ○委員長(清室太郎君) 承知致シマシタ、ソレデハサウ云フ風ニ取計ヒマス——ソレデハ委員會ハ是デ一旦閉ヂマス 午後零時十四分散會

(參照)

數種ノ鳥類ノ蕃殖期
ハ私田縣ニ於ケル營巢產卵ヨリ巢立迄ノ期間ヲ示ス
○ハ九州各地ヨリ報告中最早キ營巢時期ヲ示ス

種名	二月		三月		四月		五月		六月		七月		八月		九月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
ウヅクヒ																
ハトリ																
ヒバリ																
ヒスツバ																
モズ																
カラ																
メスズ																
シロ																
トビ																
イサザ																
キジ																
獵期																
保護期																

候鳥ノ渡來期
主ナル候鳥(雁、鴨、燕、鶉)ノ渡來期ニ就キテ中央氣象臺ニ於テ全國百數十箇所ヨリ蒐集セル報告十箇年分ヲ平均シ九州地方ト東北地方トノ差異ヲ調査セルニ下ノ如キ結果ヲ得タリ

雁及鴨ハ九州及東北ニ於テ渡來期ニ著シキ差異ヲ認メス
鶉類ハ全國其渡來期著シキ差異ヲ認メ難キモ只此種ノ本邦最初ノ渡來地タル北陸地方ハ他地方ニ比シ數日早シ山鶉ニ關シテハ中央氣象臺ノ報告ヲ缺クモ此種ノ各地渡來期ノ差ハ稍顯著ナリ
燕ハ溫度ノ上昇ヲ追フテ徐々ニ渡來スルモノナルモ併モ其差ハ東北ト九州トニ於テ僅ニ八日間ニ過キサルコト次ニ示スカ如シ

九州	四國	中國	近畿	中部	關東	東北
ヨリ移行ニ要スル日數	二日	二日、三	三日、五	四日、三	六日、五	八日、三
ヨリノ距離	七五里	八一里	一二七里	一六一里	二二三里	二九二里
ヨリノ平均一日ノ移行里程	三七里、五	三五里、二	三六里、三	三七里、四	三五里、八	三五里、二

終獵期ノ延長ニ就テ
右ニ述タルカ如ク東北地方ト九州地方トノ鳥類渡リ及蕃殖上ノ差異ハ氣候ノ差ヨリ直ニ想像スルカ如ク甚シキモノニ非ス併モ東北地方ノ鳥類蕃殖期ヲ標準トシテ考フルモ尙終獵ノ期間前既ニ蕃殖期ニ入レル鳥類尠カラサルモノニシテ現行法ノ終獵期四月十五日モ尙永キニ失スルノ嫌アリ

元來此春期獵ノ短縮ハ鳥類保護上最必要ナルハ一般ノ認ムル所ニシテ最近開催ノ萬國狩獵會議及萬國鳥學會議ノ如キモ共ニ春期獵短縮ノ必要ヲ議決セリ
右ノ如ク狩獵期間ハ現行法ノ如ク本邦劃一ノ制ニ依ルヲ可ナリトスレトモ只北海道ノミハ他ノ地方ニ比シ鳥類ノ分布竝ニ蕃殖上稍著シキ差異アリ例ヘハ夏期同地方ニアリテ蕃殖ニ秋獵内地ニ渡來越冬スルモノ(獵鳥ニテ云ヘハ鳴ノ一部鶉等ノ如キ)尠カラズ又本邦獵鳥中最主要ナル雉、ヤマドリノ如キ全ク棲息セス(之ニ替フルニ内地ニ棲息セサル「エゾヤマドリ」アレトモ獵鳥トシテノ價值極メテ乏シ)斯クノ如ク北海道ノ冬期ノ狩獵ハ本州ニ比シ著シク異レル點アルヲ以テ蕃殖上比較的影響尠キ
秋期獵ニ於テ二十日間ヲ早メ九月十五日ヨリ狩獵シ得ル様規定セルモ併モ終獵期ニ於テハ蕃殖上ノ害尠カラサルヲ以テ之ヲ延長スルコトナシ

大正七年三月二十三日印刷

大正七年三月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局